

2024年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	造形学科	履修者数	650
		回答者数	414

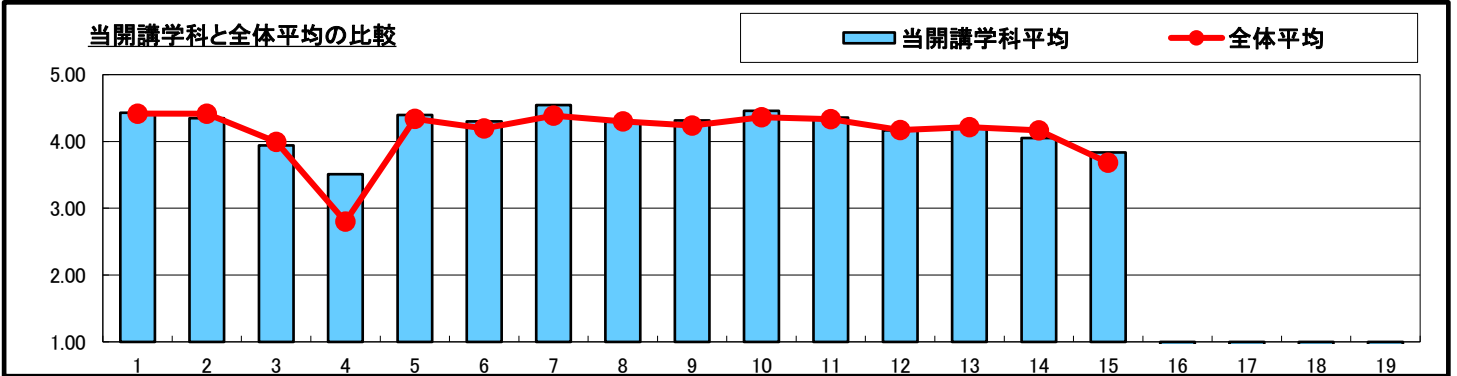
学年 マーク	回答者数／構成比（％）				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	235 56.8	90 21.7	82 19.8	7 1.7	0 0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比（％）					有効 回答	無効 回答	
			5	4	3	2	1			
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
▼全学部共通の質問項目										
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.43	218	167	20	7	2	414	0	
			52.7	40.3	4.8	1.7	0.5			
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.35	215	139	45	13	0	412	2	
			52.2	33.7	10.9	3.2	0.0			
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	3.94	125	176	81	28	4	414	0	
			30.2	42.5	19.6	6.8	1.0			

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	3.51	2時間以上 126 30.7	1時間以上 2時間未満 87 21.2	30分以上 1時間未満 99 24.1	30分未満 65 15.9	全くして いない 33 8.0	410	4
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.40	203 49.3	171 41.5	36 8.7	2 0.5	0 0.0	412	2
6	この科目の難易度は適切であった	4.30	202 48.8	156 37.7	40 9.7	10 2.4	6 1.4	414	0
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.55	256 62.1	131 31.8	21 5.1	2 0.5	2 0.5	412	2
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.30	199 48.2	151 36.6	53 12.8	6 1.5	4 1.0	413	1
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.31	233 56.7	112 27.3	38 9.2	18 4.4	10 2.4	411	3

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.46	236 57.3	140 34.0	27 6.6	6 1.5	3 0.7	412	2
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.36	214 51.8	146 35.4	40 9.7	13 3.1	0 0.0	413	1
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.16	171 41.4	159 38.5	66 16.0	14 3.4	3 0.7	413	1
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.21	186 45.1	148 35.9	61 14.8	14 3.4	3 0.7	412	2
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.05	148 35.8	156 37.8	96 23.2	8 1.9	5 1.2	413	1
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.84	十分に 読んだ 109 26.3	よく読んだ 189 45.7	どちらとも いえない 66 15.9	ほとんど 読まなかった 39 9.4	全く読んで いない 11 2.7	414	0

▼学科設問									
16		－	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0	414
17		－	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0	414
18		－	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0	414
19		－	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0	414



2024 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	造形学科
講評者	造形学科長 山本浩二

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学修環境については約 9 割が良好、クラスサイズ・グループサイズは 9 割近くが適切という回答があった。周りの学生の熱意が感じられたかという設問に対しては「そう思う」が 7 割にとどまり、学部として提供している学修環境に対して学生のモチベーションが上がっていないという状況が見られる。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	設問 4 の時間外学習に費やす時間について、全体平均を大きく上回る結果が出ている。2 時間以上という回答が 30 %を超えているが、学生との懇談会で出た意見として課題の量が多すぎるということを裏付けているのかもしれない。2 時間以上時間外に学修する学生が多い反面、全くしないという回答も 8 %あり、こちらも問題がある。設問 8 のキャリア形成や将来を考える上で役に立ったという設問の平均値が全体平均との比較でやや上回っている以外は、ほぼ同じである。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	設問 10～15 については全体平均とほぼ同じであり、特に目立った特徴は見られない。シラバスを読まない学生が 1 割以上いるというのはどの学部でも同じような傾向だと思われる。造形学部では履修モデルが示されているので、シラバスを読んで検討しなくても履修できてしまうということがあるのかもしれない。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	なし